

倒壊、斜傾、瓦礫の山

兵庫県南部地震第2報

まさに平成の世の“地獄変” 手の施しようがない惨状

宗教施設の被害を現地ルポ

十七日早朝、突如として起きた兵庫県南部地震は、神戸・西宮など大都会を直撃したため、死者が三千人を超え、行方不明を加えると四千人を超す犠牲者が出て、さらには建物の倒壊二万軒、負傷者など被災者は三十万人を超える大惨事となった。テレビ、新聞等で連日、伝えられている通り、被災地は戦争の空襲跡を思わせるほどに破壊され、被災者は寒さと食料不足、水不足に困っている。都市機能のマヒにより、まさに地獄の様相を呈している。

地震発生後、本紙では宗教界の被害状況を調べるため、独自に総力をあげて取材に取り組んだが、現地には車が入れないため足だけが頼り。現地に入って、初めてその悲惨さが分かると言われる現場は想像を絶する状況にあった。瓦礫の山となった伽藍、傾いた本堂、吹っ飛んで一メートルも移動した山門等々。**ワイド面（十、十一面）、十二、十三面**は、生々しい被災地の有り様を、宗教施設を中心にフォトで点描した。

また**八、九面**には現地取材のほか電話取材や宗務所・本山に入った情報をもとに十九日現在の被害の状況を各宗別にまとめ、さらに**十四、十五面**には各宗団の対応、被災地救援の現状を特報した。**(次号にも続報の予定)**

曹洞宗

「三宮はゴーストタウンやね」と話すのは神戸市中央区国香通七ノ二ノ六の東福寺住職圓通幸温氏。新幹線の新神戸駅から真っ直ぐ下った角にある東福寺は、本堂、鐘楼堂、山門、外塀など伽藍が倒壊寸前の状態になった。

圓通住職は、いつものように朝課を済ませた後、午前五時四十分頃、夫人と一緒に朝のウォークに出かけた。しばらくして「ゴーツ」と地鳴りのような音がして、一瞬、空が真っ赤になったという。次の瞬間、空は稲妻が走ったように光り、大地が揺れた。立っておれずにしゃがみ込み、揺れがおさまったところで、自坊へ急いで引き返した。帰ってみると、塀は倒れ、鐘楼も本堂も、庫裡も傾いてしまっていた。

「寺の復興を今は言っておられん。取りあえず応急の修理をしたいと思うが、すぐにはどうにもならないだろう。また一から頑張ります」と圓通住職は言う。

同市兵庫区羽坂通二ノ一の八王寺（志保見道元住職）は剣道場の建物を残して全滅状態と伝えられる。同市長田区海運町四ノ一ノ一の満福寺（志保見文彦住職）は全焼したとの情報もあるが、詳しい状況は今のところ全く不明だ。

同市東灘区の向栄寺（岡本寛明住職）は、一階で寝ていた母子の上にタンスが倒れかかり、母親の両側にいた幼稚園と小学校二年生の子ども二人が下敷きになった。その上に二階が崩れ落ち、子ども二人は圧死した。

同市垂水区塩谷町四ノ一四ノ七の安養寺（宇野義晴住職）は本堂が大きく傾いた。

明石市人丸町一ノ二九の月照寺（間瀬元道住職）は山門が倒れ、墓が全て倒壊。本堂の屋根瓦が飛んで穴があき、庫裡は傾いた。「今度また揺れたら倒壊する」状態にある。

宝塚市宮ノ町一ノ九の宝泉寺（岸野恭順住職）は本堂、庫裡、山門、鐘楼が全滅したと伝えられる。宝塚市山

本中一ノ一〇ノ一七の楊林寺（西村真典住職）、宝塚市山本中二ノ一〇ノ一六の喜音寺（戸田泰浩住職）も本堂屋根が飛ぶなど被害甚大のもよう。

伊丹市中央六ノ三ノ三の墨染寺（三輪昌伸住職）は新築の本堂屋根が崩れ、庫裡の壁が割れた。墓地や納骨仏壇は倒壊した。

高野山真言宗

神戸市東灘区御影町の理性院（西蔵全祐住職）は、付近で発生した火災に巻き込まれ、十七日、全焼した。同寺は、二年前に本堂、庫裡を新築したもので、本堂など儀式、法要にまだ使っていなかった▽同市長田区菅原通六ノ二ノ一、菅原寺（山田恵昭住職）は、倒壊▽兵庫南部地震の震源地の淡路島・北淡町富島の生福寺（若林義導住職）は、全壊した▽西宮市社家町一ノ三六の円満寺（住職＝篠原法傳兵庫宗務支所長）は“西宮成田山”の本堂、納骨堂、庫裡が全壊した▽西宮市門戸西二ノ二六の東光院（松田真■住職）は山門と手洗いが倒壊、本堂の柱がずれた▽西宮市高木東町一ノ二の大日寺（関義彰住職）は本堂など全壊▽西宮市段上町三ノ二ノ三の西広寺（三野耕道住職）は本堂などが全壊▽西宮市高木西町三ノ一九の法心寺（神保耕道住職）は本堂・庫裡などが全壊、神保住職の夫人が下敷きになり死亡したもよう▽西宮市鷲林寺町四ノ八の鷲林寺（藤原栄善住職）は鐘楼堂が全壊、二年前に落慶した多宝塔が浮き上がった▽伊丹市寺本二ノ一六九の昆陽寺（万波通宏住職）は門が崩れ、本堂が傾いた▽伊丹市寺本堂山一九の遍照院（市川雅信住職）は昨年十一月に完成したばかりの庫裡が半壊▽伊丹市寺本一ノ一〇三の正覚院（岡部兼海住職）は小門が全壊▽新居祐政高野山真言宗宗務総長の自坊・光明院（神戸市兵庫区吉田町三ノ一五ノ二）は、鉄筋コンクリート造りの信徒会館を残して、ほぼ壊滅状態になった▽兵庫区中道通五ノ一ノ三の西室院（田中昭寛住職）は本堂などが倒壊▽須磨区北町一ノ四ノ二八の浄徳寺（宇賀芳徳住職）は本堂・庫裡が倒壊、残った信徒会館で生活している▽兵庫区下沢通一ノ二ノ二の真福寺（伊達宗隆住職）は本堂などが全壊した。

真言宗大覚寺派

宝塚市小林の成福院（今井弘道住職）は山門と本堂が倒壊した。兵庫県津名郡北淡町の海福寺（潮弘憲住職）、興久寺（禰宜田龍真住職）、真泉寺（禰宜田龍栄住職）ではそれぞれ本堂と庫裡が倒壊した。

東寺真言宗

神戸市長田区神楽町の西代寺（高木宝瑞住職）は火災で全焼。名誉住職木田宥岳氏（元宗務総長）の夫人・文子さんが生き埋めで死亡した▽灘区上野通の実相寺（頼富本宏住職）は本堂の瓦が落ち、住居が傾いた。

真言宗御室派

今回特に被害の大きかった兵庫区、長田区に五カ寺（東山寺、大聖寺、大日寺、法隆寺、朝光寺）あり、連絡がとれない状態のため十九日、本山職員二人が現地へ調査に赴いた▽西宮市甲山町二五ノ一の神呪寺は本堂が半壊、不動堂が全壊。

真言宗須磨寺派

神戸市須磨区須磨寺町四ノ六ノ三、大本山須磨寺塔頭の蓮正院、富永龍心住職が、本堂の倒壊で下敷きとなり死

去した。

本門佛立宗

廣宣寺（西宮市津門稻荷町四ノ二三、山内日開住職）では本堂が天井の崩落等により大きく傾き、御本尊を廣宣寺会館三階に遷座した▽本法寺（神戸市兵庫区会下山町三ノ一六三ノ一、速水日信住職）では本堂内の被害が甚大で、寺関係者は近くの公園に避難した▽大法寺（神戸市長田区御屋敷通二ノ五ノ一六、谷川日恩住職）では本堂の壁に亀裂が入り、各御堂の屋根瓦が落ちた。本堂内陣は無事とのこと▽正法寺（神戸市灘区神ノ木通三ノ五ノ一六、福岡清量住職）では本堂、法宅及び信徒会館が大きく傾き、余震で倒壊する恐れがある▽教法寺（神戸市中央区橋四ノ二ノ二三、中西日納住職）では本堂荘厳を信徒会館へ移した▽日法寺（神戸市垂水区五色山二ノ四ノ一、奥山日明住職）では本堂に亀裂が入り、屋根瓦がすべて落ちた▽香風寺（神戸市須磨区関守町二ノ三ノ四二、福岡日雙住職）は連絡がとれない状況。

臨済宗妙心寺派

自衛隊の救援部隊の姿が目立つ西宮市役所前にある海清寺（春見文勝住職・前管長）では鉄筋コンクリートの楠会館や禅堂などは健在だが、修理中の開山堂や鐘楼は倒壊、庫裡もほとんど崩れかけ、赤門は傾き辛うじて補助材で倒壊の危険を防いでいる▽祥福寺（河野太通住職・神戸市兵庫区）で山門が倒壊、本堂にも亀裂が入った▽松隣寺（西山柏堂住職・兵庫区）は伽藍が全壊▽桃林寺（森野弘洲住職・津名郡北淡町）は伽藍が全壊。

臨済宗南禅寺派

広厳寺（神戸市中央区、千葉猷道住職）は伽藍が全壊▽福海寺（中野多聞住職・兵庫区）は伽藍に大被害を受けた▽海泉寺（長田区、染川真澄住職）は本堂が全壊▽福聚寺（同、足立芳伸住職）、明泉寺（同、富士荘碩住職）も本堂が使用不可能な状態。

臨済宗東福寺派

西宮市役所に近い茂松寺（宇野正弘住職）は本堂が全壊。鉄筋コンクリート建ての会館、位牌堂は無事。

法華宗本門流

尼崎市の大本山本興寺（大平日晋貫首）を筆頭に、淡路島を含む兵庫県に多くの寺院を抱える同宗では現地との連絡が全く取れないため、川口日唱総長自ら兵庫県に向かい、被害状況を把握することになった▽大本山本興寺で山門の扉が壊れたほか、三光堂の柱が傾き、境内北側と西側の塀が倒れ、また庫裡もあちこちが壊れた▽大本山本興寺塔頭の一乗院（斎藤舜駘住職）では山門が倒れたほか、同養寿院（三浦成雄住職＝本興寺執事長）では本堂の屋根が潰れて半壊の状態▽十二カ寺ほどある神戸市内の寺院や二十七カ寺ほどある淡路島（淡路教区）の状態はまだはっきりしないが、かろうじて現地から連絡のあった中では神戸市兵庫区の法華寺（小西徹龍住職＝興隆学林専門学校学監）で建物に被害があった▽津名郡一宮町の最明寺（松井本正住職）では、本堂が全壊に近い状態。

神社界

兵庫県南部地震の影響は、神社界にも深刻な被害をもたらした。東京の神社本庁（白井永二総長）はただちに被害情報の収集に全力を投入、二人を視察に派遣して実態を調査し、援助の具体化へ討議を行なった。

湊川神社（神戸市中央区、吉田智朗宮司）境内にある兵庫県神社庁（岡田善夫庁長）は、職員の神社が甚大な被害を受けたため、また電話も通じないという特殊な事態の中で、まだ対応策を検討する段階まで至っていない。

岡田善夫庁長が奉仕する八幡神社（西宮市）は、石鳥居、社務所が倒壊し、本殿もかろうじて建っているだけという状況だが、岡田庁長は住居が別だったため危うく難を逃れた。

湊川神社は正面入り口わきの塀が一部倒壊し、境内の石鳥居が崩壊したため、現在終日お宮を閉めている。神社庁の庁舎も壁が一部崩れ落ちた。しかし、コンクリート造りの頑丈な神社とあって、被害は最小限に食い止められた。

人的被害の最たるものとして、神戸市灘区大和四丁目の徳井神社が全壊し、橋健一宮司と夫人の文子さんが社屋の下敷きとなって亡くなるという最悪の事態が発生した。

他の社寺では、西宮神社（吉井良隆宮司）の参道に立つ灯籠がほぼ全壊し、正面鳥居、神社の名を記した石柱も倒れた。拝殿・本殿、社務所の建物はなんとか倒壊を免れたが、本殿を支える柱が右に傾いてしまった。西宮神社の境内社は、南宮神社が全壊したのをはじめ殆ど倒壊し、境内の池のまわりも無惨に変わり果て、絵馬殿、手水舎も全壊。国の重文である表大門も、柱にひび割れが入るなど、ひどく傷んでしまったが、この門は四百年近く存続し、多くの震災を無事に過ごしてきただけに、今回の地震の深刻さが窺われる。

吉井宮司以下職員にけが人はなかったが、筆頭責任役員総代ら、氏子・崇敬者の訃報が相次いだ。

なお、新築した参集殿が無事だったため、西宮神社では参集殿を市民の避難所として開放、十八日には約八百人が神社に休息を求めた。

中央区・生田神社（加藤隆久宮司）は拝殿が倒壊、三宮商店街の壊滅とともに、境内は変わり果てた姿になった。また長田神社（津田信基宮司）が鎮座する長田区は、火災による被害が全国に報道された。長田神社は本殿が傾き、境内も大きな被害に遭ったが、なんとか火災による被害は免れた。不幸中の幸いか、生田神社、長田神社ともに職員は全員無事だった。

今回の地震では、古い木造建築が数多く倒れるという事態が発生し、特に瓦葺きの社殿、石鳥居に被害が多く、今後の社寺建築に重い課題を突きつけた。また、単に神社が災害を被るだけでなく、氏子崇敬者に極めて甚大なる被害が及んだために、復興にも大きな困難が伴うことが予想される。今こそ神社界全体の人的資源を活かした、迅速かつ適切な対応が期待される。

また兵庫県でも西部になると状況が大きく変わり、赤穂市の大石神社（飯尾精宮司）では本殿の社宝がいくつか倒れたくらいで済んだ。神戸市内も垂水区以西は今のところ大きな神社の倒壊は報告されていない。むしろ大阪府の北部に大きな被害が発生し、大阪府神社庁長の加藤知衛庁長が宮司を務める豊中市の服部天神宮で境内の多くの建造物が倒れたことが報告されている。今後も調査が進めば、府内神社、特に十三以西に大きな損壊が報告されてゆくことが懸念されている。

大阪府神社庁、大阪府神道青年会では、援助の具体策を審議している。

浄土宗

兵庫県を中心に大きな被害を出した兵庫県南部地震は浄土宗の各寺院にも大きな被害をもたらしている。

宗務庁に十八日までに連絡の入っている主な被害状況によると、武崎組の尼崎市・光明寺（柴田義朗住職）は山門全壊、本堂壁崩れ、同市・願生寺（高橋弘次住職＝佛大学長）は本堂の傾き、尼崎市・来迎寺（小島哲彦住職）は本堂全壊、同市・西運寺（田野島孝道住職）は観音堂全壊、瓦落下、西宮市・西安寺（佐藤真学住職）は本堂全壊、同市・西蓮寺（貴田康住住職）は本堂全壊、同市・阿弥陀寺（増田行善住職）は本堂・庫裡全壊、宝塚市・法性寺（螺澤昌弘住職）は本堂半壊、芦屋市の親王寺（河北光順住職）は本堂全壊、安楽寺（曾和義雄住職）は山門・内陣破損、伊丹市の杜若寺（西本英尊住職）は墓石全部倒壊、池田市の壽命寺（岡村覚生住職）は本堂全壊、

など。

ただ、神戸市の長田区や中央区、兵庫区など被害の大きかったとみられる地域の各寺院については電話連絡が取れないために被害状況が分からないという状態。宗務庁では引き続き、被害状況の情報収集に努める一方、生活物資の輸送や、全国浄土宗青年会に人的派遣を要請するなど救援体制を整えたいとしている。

中外日報社でも特別取材班を編成し、十八日に独自に被災寺院を取材。このうち浄土宗寺院では、同市馬場町にある貴田康住兵庫教区教区長の自坊・西蓮寺の本堂が全壊した。比較的新しい建物の庫裡は被災を免れ、寺族は全員無事だった。

貴田教区長は「本堂はこのような状態、どこから手をかけていいのか分からない。ご本尊はまだ倒壊した本堂内にいらっしゃるが、現在では手の施しようがない状態だ」と話している。ほこりだらけの作務衣姿で安否を気遣う近所の被災者宅や各寺院への見舞いに追われた。

同市産所町にある佐藤心岳氏の自坊・西安寺でも、昭和二十四年に建立した本堂と山門が全壊。建物の古い書院も大きな被害を受けた。鉄筋コンクリートで新しく建てられた庫裡だけが被害を免れ、寺族は全員無事だった。無事だった庫裡に、家を失った近くの被災者を収容するなど救援活動も行っている。

佐藤住職の奥さんは「ドンと突き上げるような衝撃とともに大きな揺れがきた。こんなことになるとは予想もしなかった。庫裡は足の踏み場もないほど散乱している状態」と恐怖を語るとともに、「現時点では檀信徒が一人亡くなったと聞いているが、正確な人数は分からない。とにかく近所の被災者の方を庫裡に入れてもらっている」と庫裡の整理にあたった。

増田行善氏が住職を務める阿弥陀寺は本堂、庫裡などすべての建物が全壊。境内に足を踏み入れることもできないような状態となっている。寺族らは倒壊した建物に四十分間ほど生き埋めになっていたが、近くに住む檀家総代の息子さんに救出され、九死に一生を得たという。檀家の家族が二十人ほど死亡したが遺体すら出すことが出来ない状態で、葬式を勤めようにも、勤められない状態。増田住職も公会堂などに安置されている死亡者のお参りに行った。

同住職の母親は「寺の裏側のお宅も家が全壊し、家族が下敷きになったままだが、手の施しようがない。救援を待つばかり。私たちは全員無事だったが、倒壊した建物の下敷きになっていた。二階で母親と寝ていた生後九カ月の孫も無事だった。十七年前に前住職を亡くし、今回またこんな災難に遭って、なぜだという気持ちでいっぱい。生命だけは助かったのだから、頑張らなくてはと思っている。教区長も昨日、お見舞いに来ていただいて、若い住職を励まして下さった」と自ら励ましながら、災害の後かたづけを行っていた。

吉水講理事長の池上霊心氏の自坊・観音寺は、本堂、庫裡と境内にある「老人憩いの家」など建物が新しく鉄筋コンクリートで建築したものばかりで、建物はすべて無事だったが、墓地とレンガ塀がほとんど倒壊した。同寺でも境内の「老人憩いの家」に近所の被災者を収容し、救援活動も開始している。

池上氏は「本尊さま、寺族ともに無事だった。建物は無事だったが、内部はどこから手を着けていいのかというくらいの散乱状態。とにかく、本堂からかたづけしている。九人の檀家さんが亡くなっている。遺体が既に本堂に運ばれており、現在、住職が近くの病院などに安置されている亡くなった方々のお参りに出かけている。墓地は全滅だが、最近建立した英霊観音さまだけが無事だった」という。取材中にも災害で父を亡くしたという檀信徒の一人が母親を伴って同寺を訪れ、涙を浮かべながら「父が亡くなった」と報告、同前住職も慰めと励ましの言葉をかけていた。

被災地で最も多くの死者を出した東灘区の阿弥陀寺（土佐舜成住職）は空襲に焼け残った山門、鐘楼堂、観音堂など木造建築と土塀がすべて倒壊。鉄筋コンクリート造りの本堂は無事だったが、三階建ての庫裡は一階部分が押し潰された。

地震発生時、土佐住職は庫裡の二階に居り、そのまま崩れ落ちる床ごと地面に叩きつけられた。その際、突き出した梁が頭を直撃しそうになったが、僅か十数センチのところまで止まって助かったという。

また、寺の周囲の木造家屋はほぼ全壊、マンションやビルも一、二階が潰された。付近は路地でクレーン車が通れず、倒壊した家屋に生き埋めになっている人たちの救済がおぼつかない状態。助けを求める声のする所を住民たちが掘り起こしているもの間に合わず、「我々の救出などたかがしれている。今も裏のマンションでは瓦礫の中

から叫び声が聞こえているのに。しかし、時間が経つにつれ、その声も聞こえなくなり呆然と立ち尽くす家族もいた」と不満をぶちまけていた。

また、最も不足しているが飲料水。お粥に使う水がなく、近隣の住吉川の泥水をすくってタオルなどで漉して使っているという。土佐住職は行き場のない付近の住民のために被害の少なかった本堂と信徒会館の和順会館を開放。約三百人の市民、信徒を収容し、境内横で炊き出しなどを行なっている。

このほか、河北光順氏が住職を務める芦屋市の親王寺では、二年前に建立した新しい本堂に、東側にあるマンションが覆いかぶさるように倒壊して、本堂が全壊。花木円諦氏が住職を務める西宮市の昌林寺では、山門が全壊、本堂も傾くなどのダメージを受けている。尼崎市の松永寿秀氏の自坊・常春寺も本堂が半壊したとの情報が入っている。

浄土真宗本願寺派

各組別の被災寺院は次の通り。

【阪神東組】

▽源正寺（西本章成住職、伊丹市）＝本堂屋根ずれる。内陣の壁が剝がれる▽来恩寺（斉藤蓮水住職、同）＝本堂屋根半壊、内陣損壊▽遍照寺（明井祥恭住職、同）＝本堂と鐘楼が半壊▽福円寺（福本康二住職、同）天井一部落下▽最光寺（杉本痴覚住職、同）＝鐘楼全壊▽祐光寺（小田周誠住職、尼崎市）＝鐘楼全壊▽明德寺（窪靖雄住職、同）＝本堂屋根損壊▽覺円寺（長澤弘之住職、同）＝本堂屋根、太鼓堂崩壊、庫裡半壊、通用門倒壊▽西蓮寺（山本彰一住職、同）＝本堂半壊▽西正寺（中平覺了住職、同）＝山門、鐘楼全壊▽専正寺（加藤亮璋代務住職、同）＝本堂が約二〇度傾く

【阪神南組】

▽西教寺（生嶋俊興住職、尼崎市）＝本堂、山門、鐘楼が倒壊▽常念寺（瑞穂光信住職、同）＝本堂半壊、山門倒壊▽浄元寺（宏林榮泰住職、同）＝本堂、庫裡が損壊▽浄徳寺（廣岡憲雄住職、同）＝本堂屋根損壊▽常性寺（楠照眞住職、同）＝本堂半壊▽西性寺（武内紹晃代務住職、同）＝庫裡全壊▽西要寺（堀祐真住職、同）＝本堂は改築中のため軽度の損害、庫裡半壊

【阪神西組】

▽万徳寺（谷川正秀住職、尼崎市）＝本堂、庫裡は一部損壊、山門、鐘楼は全壊▽金衆寺（光森正士住職、同）＝山門、鐘楼半壊▽廣宣寺（錦織美範住職、同）＝本堂一部損壊、庫裡半壊、山門倒壊▽浄専寺（武内紹晃住職、同）＝庫裡損壊、山門、鐘楼は倒壊▽西光寺（中西和美住職、西宮市）＝本堂一部損壊▽善教寺（赤井秀顕住職、同）＝本堂半壊、山門全壊▽常源寺（堀善照住職、同）＝山門倒壊▽西福寺（豊原大成住職、同）＝庫裡倒壊、前住職、坊守、長女の寺族三人が死去、少なくとも門徒三十人が死亡▽真光寺（崎本隆範住職、同）＝坊守が腕を骨折▽正念寺（北條覚正住職、同）＝山門、太鼓楼倒壊▽信行寺（四夷教修住職、同）＝山門、経堂が倒壊

【阪神北組】

▽最徳寺（廣澤伴緒住職、川辺郡猪名川町）＝本堂に罅が入り、山門は傾く▽覚正寺（末井義明住職、川西市）＝本堂の天井が損壊▽願勝寺（寺川寛哉住職、宝塚市）＝庫裡倒壊、本堂の瓦落下▽光圓寺（杉本光俊住職、同）＝本堂ガラス損壊、境内地割れ、門徒十人死亡▽毫摂寺（出雲路常明住職、同）＝本堂屋根損壊、庫裡半壊、山門倒壊▽大林寺（木村秀隆住職、同）＝内陣仏具崩れる▽源照寺（河原弘雄住職、西宮市）＝内陣一部損壊▽教行寺（中山英麿住職、同）＝内陣損壊

【神戸東組】

▽照善寺（杉本正義住職、芦屋市）＝本堂、庫裡全壊▽眞照寺（仲邑秀明住職、同）＝本堂、庫裡全壊▽浄称寺（菊川秀乗住職、神戸市東灘区）＝庫裡損壊、山門倒壊、門徒死亡▽圓光寺（長島見乗住職、同）＝本堂一部崩壊、庫裡倒壊、寺族負傷▽正寿寺（棘信了住職、同）＝本堂、鐘楼全壊、庫裡半壊▽無量寺（林峻一住職、同）＝本堂、庫裡全壊▽覚浄寺（淵邊一雄住職、同）＝本堂、庫裡全壊▽西方寺（藤山和基住職、同）＝庫裡半壊、鐘

楼、山門、太子堂は全壊▽光圓寺（四茂野尚樹住職、神戸市灘区）＝本堂、庫裡全壊▽福正寺（井上清澄住職、同）＝庫裡、山門全壊▽妙善寺（上田泰朗住職、同）＝本堂、庫裡全壊、寺族一人死亡▽圓福寺（松本廣長住職、同）＝本堂損壊、庫裡全壊▽照光寺（津守秀導住職、同）＝本堂、庫裡全壊▽西念寺（東茂嘉住職、同）＝庫裡損壊▽眞照寺（保滌義孝住職、同）＝本堂、庫裡全壊

【神戸中組】

▽光徳寺（森本教明住職、神戸市中央区）＝内陣損壊▽泉隆寺（松阪隆昌住職、同）＝内陣損壊▽高法寺（志水紫朗住職、同）＝寺院が全壊▽照善寺（高橋徹俊住職、同）＝本堂傾く▽正慶寺（関空童住職、同）＝本堂、庫裡崩壊寸前▽専称寺（豊原大乗住職、同）＝本堂、山門、鐘楼損壊▽極楽寺（岡本幸信住職、同）＝寺が全壊▽光輪寺（山内憲英住職、同）＝本堂一部損壊▽浄教寺（寺田瑞穂住職、同）＝本堂など倒壊▽光尊寺（廣瀬照晴住職、同）＝本堂屋根瓦落下▽正教寺（小川昌徳住職、同）＝本堂損壊▽徳照寺（廣岡行信住職、同）＝庫裡損壊、山門、鐘楼倒壊▽正念寺（増岡康宗住職、同）＝庫裡半壊▽應誓寺（杉岡行信住職、同）＝本堂内破損▽報恩寺（上谷良昭住職、同）＝本堂傾斜

【神戸湊組】

▽尊光寺（前川隆司住職、神戸市兵庫区）＝本堂、庫裡全壊▽光明寺（山西宏昭住職、同）＝本堂、庫裡全壊、寺族二人死亡（内一人は小児）▽浄念寺（藤井和正住職、同）＝本堂損壊▽西光寺（藤井基住職、同）＝本堂損壊、内陣損壊▽高松寺（谷川眞淳住職、神戸市北区）＝内陣納骨壇破損▽浄徳寺（楠誓也代務住職、神戸市兵庫区）＝本堂など全壊▽廣福寺（楠誓隆住職、同）＝本堂など全壊▽教覚寺（別所忠晃住職、同）＝内陣、庫裡半壊▽浄栄寺（小宅信水住職、同）＝内陣破損▽圓融寺（谷口裕康住職、同）＝本堂など崩壊寸前▽顕證寺（藤正隆住職、同）＝内陣など損壊▽行願寺（久掘弘義住職、神戸市北区）＝内陣など損壊

【神戸西組】

▽浄行寺（中村信之住職、神戸市長田区）＝本堂向拝損壊▽顕真寺（大西正信住職、同）＝本堂、庫裡損壊▽金楽寺（藤本周慶住職、同）＝本堂崩壊寸前、庫裡、鐘楼半壊▽普賢寺（北村顕昇住職、同）＝本堂、庫裡全壊▽正覚寺（菅原和勝住職、同）＝本堂、庫裡倒壊▽法泉寺（多村義之住職、同）＝本堂、庫裡全焼▽本誓寺（藤猪英生住職、同）＝本堂、庫裡全壊、前坊守死亡▽善海寺（阿部敏之住職、同）＝本堂など全壊▽蓮生寺（石井弘宣住職、同）＝本堂など全焼▽専照寺（清水明住職、同）＝本堂など全焼▽寶球寺（鷺尾衛鳳住職、同）＝本堂など全壊▽教信寺（山本政秀住職、同）＝本堂、庫裡全壊▽安楽寺（藤本欣志住職、同）＝本堂全壊、庫裡損壊▽佛心寺（池谷正信住職、神戸市須磨区）＝本堂、庫裡倒壊▽信行寺（米田睦雄住職、同）＝本堂、庫裡全焼▽徳善寺（岡崎満利雄住職、同）＝本堂、庫裡全焼▽現光寺（片岡御冬住職、同）＝本堂傾斜

【神明組】

▽金勝寺（大岡静覚住職、神戸市西区）＝庫裡、山門、太鼓楼半壊▽安養寺（光森住職龍樹住職、明石市）＝内陣損壊

【淡路組】

▽円徳寺（巖見照住職、津名郡淡路町）＝本堂屋根、庫裡倒壊▽萬行寺（山本宣昭住職、津名郡東浦町）＝本堂廊下、鐘楼半壊、庫裡別棟倒壊▽宣勝寺（田近宣勝住職、津名郡北淡町）＝庫裡屋根損壊、太鼓堂、築地塀倒壊▽専修寺（辻野尊照住職、津名郡津名町）＝門信徒一人死亡▽浄光寺（梅林雅道住職、洲本市）＝本堂損壊、庫裡半壊。

真宗大谷派

被害が大きかったのは山陽教区神戸組と六組、大阪教区の八、九組。十九日午前の調べでは神戸、阪神間の計十数カ寺が被災した。

能邨英士内局は十八日、地震災害救援本部を教務部（日野大信部長）内に設置。両教区の被害状況を調査しているほか、渋谷昌山陽教務所長が神戸市内に入って被災寺院を視察した。

それによると本堂、庫裡が全壊したのは専念寺（鈴木孝行住職、兵庫区）と明正寺（土橋英明住職、長田区）。明善寺（笠原昭憲住職、長田区）では本堂、庫裡とも焼失した。

また、本堂、庫裡がほぼ全壊と判断されたのは兵庫区の超勝寺（山本了義住職）と専勝寺（山口正利住職）。柳泉寺（宇磨谷教紹住職、兵庫区）は本堂、庫裡に加えて塀も倒れた。

西林寺（中杉幸夫住職、兵庫区）は本堂、庫裡をほとんど焼失。福泉寺（清水葩彦代務者、兵庫区）は庫裡を除いて本堂と塀が倒壊した。

塀にヒビが入ったのは浄光寺（山本義尚住職、兵庫区）で、遥船寺（村上恵雄住職、中央区）では本堂瓦を九割以上も落とした。壁がヒビ割れたのは善行寺（前田政昭住職、中央区）で、玉龍寺（五百井正浩住職、長田区）は瓦のずれのほか、塀に十センチの亀裂が生じた。

今のところ、神戸市内でほとんど異常のなかったのは慶徳寺（波来谷勝彌住職、兵庫区）など六カ寺だけだという。

大阪教区では妙福寺（直林法廣住職、兵庫県芦屋市）の本堂、庫裡が全壊した。直林住職は生き埋めになったものの、かろうじて自力で脱出したそうだ。萬徳寺（稲葉和麿住職、兵庫県伊丹市）は庫裡が半壊、本堂も傾いた。本堂が倒壊したのは圓受寺（橋本一哉住職、兵庫県尼崎市）で、明德寺（中尾良光住職、兵庫県西宮市）、壁圓寺（後藤繼男住職、神戸市灘区）では各々、太鼓楼と山門が倒壊した。さらに、常永寺（神戸市東灘区）では本堂が全壊、庫裡も半壊して松田京子前坊守が死去した。

真宗興正派

十九日午前中現在の、宗務所調べによる被災寺院は次の通り。

正玄寺（堀照瑞住職、尼崎市）＝内陣損壊▽正福寺（高橋一雄住職、同）＝内陣など破損▽真光寺（瀬口円爾住職、同）＝本堂傾き内部立ち入り不可▽延光寺（赤松正慶住職、同）＝本堂傾く▽教善寺（大路光夫住職、伊丹市）＝庫裡全壊▽西宗寺（阪上芳悦住職、宝塚市）＝内陣破損▽光教寺（伊井崇久住職、神戸市兵庫区）＝本堂大破▽西教寺（谷口公也住職、同）＝本堂など内部損壊▽勝覚寺（黒澤正憲住職、神戸市長田区）＝本堂など内部損壊▽勝光寺（井原照寿住職、神戸市須磨区）＝本堂など内部損壊▽浄行寺（日野淳勝住職、明石市）＝本堂など内部損壊▽光触寺（佐々木義麿住職、同）＝本堂、庫裡損壊▽東光寺（本多恵博住職、同）＝本堂半壊、庫裡損壊▽教専寺（高橋香南住職、同）＝本堂、庫裡損壊、坊守負傷▽西光寺（草野憲精住職、同）＝本堂損壊▽円光寺（藤井信行住職、大阪市西淀川区）＝本堂損壊。

この度の兵庫県南部地震により被害を受けられました皆様に心からお見舞い申し上げます
くれぐれもご健康に留意され一日も早く復旧されますようお祈り申し上げます

妙心寺派宗務本所